





































































































## 国史跡 赤木名城跡

名称 史跡 赤木名城跡  
指定年月日 平成21年2月12日(文部科学省告示第6号)  
所在地 奄美市笠利町里

### 指定の理由

基準 特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準(昭和26年文化財保護委員会告示第2号)史跡の部二による。

説明 琉球列島の奄美地域を代表する中世並行期の城郭。奄美大島の北部西岸にある笠利湾を望む丘陵上に立地した奄美地域屈指の規模をもつ。全体の構造からみて石垣が発達した琉球より日本の影響がみられることが注目される。この時期の琉球・日本・奄美との政治・軍事を考えるうえできわめて重要な遺跡。

Site Name  
Akakina Castle(Gusuku) Site  
Designated: February 12, 2008  
Location: Sato village, Kasari District, Amami City  
Reason for Designation

Explanation  
A Gusuku of the period corresponding to the Middle Ages and representative of the Amami area of the Ryukyu Islands. Situated on northern Amami Oshima's west coast, Akakina Gusuku is one of the largest-scale Amami area gusuku, and is located on a hill overlooking Kasari Bay. The well-developed coral walls and overall structure show greater influence from Japan than Ryukyu. This site is extremely important when considering the government and military affairs of Ryukyu, Japan and Amami during this period.



赤木名城西之東側地図(左) 城内の西之東側地図



奄美市教育委員会





















赤木名観音堂

赤木名観音堂は延宝三年一六  
七五年に建立され文政二年一  
八一九年伊津部に移転するまで  
おおよそ百四十四年間この地  
に士民教化の殿堂としてその偉  
誇っていた  
この碑は観音堂開山時の住職  
の墓碑である和尚は開山の住  
来島その功績はたがひ元禄三  
年まで十五年間その才をた  
の道で士民の教化にはけ  
地で天寿を終えたの  
開山三百年を記念し墓碑を再建  
するが南海の孤島の士民の信  
仰した遺徳を顕彰する  
昭和五十一年十月吉日  
笠利町長 朝山玄庵



























































































